



薬剤部 ～情報～ 2021年11月



院外限定薬品採用

モビコール配合内用剤LD

慢性便秘症治療剤 EAファーマ

【効】慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く)

【用】 【副】添付文書参照



ネオキシテープ73.5mg

経皮吸収型過活動膀胱治療剤 久光製薬

【効】過活動膀胱における尿意切迫感, 頻尿及び切迫性尿失禁

【用】通常, 成人に対し本剤1日1回, 1枚(オキシブチニン塩酸塩として73.5mg)を下腹部, 腰部又は大腿部のいずれかに貼付し, 24時間毎に貼り替える。

【副】添付文書参照



ハルロピテープ24mg

経皮吸収型ドパミン作動性パーキンソン病治療剤 久光製薬

【効】パーキンソン病

【用】通常, 成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め, 以後経過を観察しながら, 必要に応じて1週間以上の間隔で, 1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回, 胸部, 腹部, 側腹部, 大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し, 24時間毎に貼り替える。なお, 年齢, 症状により適宜増減するが, ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。

【副】添付文書参照



スタレボ配合錠L100

抗パーキンソン剤 ノバルティスファーマ

【効】パーキンソン病 [レボドパ・カルビドパ投与において症状の日内変動(wearing-off現象)が認められる場合]

【用】成人には, レボドパ・カルビドパ・エンタカポンとして1回50mg/5mg/100mg~200mg/20mg/200mgの間で1回1又は2錠を経口投与する。なお, 症状により用量及び投与回数を調節するが, 1日総レボドパ量として1500mg, 総カルビドパ量として150mg, 総エンタカポン量として1600mgを超えないこと。また, 投与回数は1日8回を超えないこと。

【副】添付文書参照



ツムラ疎経活血湯エキス顆粒(医療用)

漢方製剤 ツムラ

【効】関節痛, 神経痛, 腰痛, 筋肉痛

【用】 【副】添付文書参照



名称変更

・トニール錠10µg(先:スピロペント錠10µg)→
クレンプテロール錠10µg「ハラサワ」(2021年9月経過措置切れのため)

採用変更

・ニトロダームTTS25mg 院外限定へ(硝酸薬:フランドルテープあり)
・デバケン細粒40% 院外限定へ

出荷制限(院内)

・リュープリンSR注射用キット11.25mg→
患者相談後、リュープリンPRO注射用キット22.5mgへ変更



〈当センター採用の糖尿病内服薬(SGLT2阻害薬)についてまとめました。〉

SGLT2阻害薬			
商品名	スーグラ錠50mg 	フォーシーガ錠5mg 	カナグル錠100mg (院外限定薬品) 
一般名	イプラグリフロジン L-プロリン	ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物	カナグリフロジン水和物
用法・用量	<p>[2型糖尿病] 1日1回50mg,朝食前又は朝食後。</p> <p>[1型糖尿病] インスリン製剤との併用において,1日1回50mg,朝食前又は朝食後。</p> <p>[効果不十分] 1日1回100mgまで増量可。</p>	<p>[2型糖尿病] 1日1回5mg。</p> <p>[1型糖尿病] インスリン製剤との併用において,1日1回5mg。</p> <p>[効果不十分] 1日1回10mgまで増量可。</p> <p>[慢性心不全,慢性腎臓病] 1日1回10mg。</p>	<p>[2型糖尿病] 1日1回100mg,朝食前又は朝食後。</p>
特徴	腎臓のブドウ糖再吸収を阻害する。 血糖改善に加えて体重減少も期待できる。		

